

会議結果報告書

令和7年8月6日

会議の名称	令和7年度加佐地域福祉センター（由良川学園）運営会議	
種別	<input type="checkbox"/> 附属機関 <input checked="" type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和7年8月5日（火）      13時45分～15時10分	
開催場所	舞鶴市加佐地域福祉センター（由良川学園）2階 会議室	
出席者	9名（委員5名、事務局4名）	
議題	(1) 委員長・副委員長の選出 (2) 令和6年度の利用状況について (3) 由良川学園の運営について (4) その他	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 部分公開	[理由]
傍聴者数	0名	
審議結果 及び 主な意見等	別紙会議録のとおり	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		
担当課	舞鶴市 福祉部 高齢者支援課 TEL ( 0773 ) 66 - 1013	



行った。令和2年度には8千人台まで落ち込んだ利用者数もコロナ禍以降、徐々に回復し5年度、6年度には1万人近くまできており、今年度は何とか1万人越えを目指しているが7月からの猛暑で予約キャンセルも頻繁に入っている状況である。

また資料2-3で主なサークルの説明を行った。

(6) 議事第3号 由良川学園の運営について

(事務局) 資料3により、舞鶴市福祉センター条例における「事業」の説明と令和6年度に由良川学園が取り組んだ事業について説明を行った。

ゲートボール教室については、会員の減少が著しく2年度には58名であったが6年度には23名となっている。新規の加入はなく高齢による自然減少。

貸し館事業においては、卓球や体操など多目的に利用できる多目的室に利用率が高い。

大広間(5.4畳、舞台付き)は以前から要望のあった畳も新らしくなり、広さのある和室は貴重でありもっと利用していただきたい。

由良川学園として、施設を有効に使用していただき特色のある事業を展開したいと考えているが、「地域福祉センター条例」としての位置付けも考慮しながら相応しい事業を摸索している。ご意見や良いアイデアがあればお聞かせ願いたい。

(塩田委員) 毎月民児連の会議で大広間を使用しているが、その他の行事はもう少し広い学校等になってしまう。

(7) その他

(委員長) 私と荒木委員は元気サロンからということで委員になっているが、組織としてどうゆう状況なのか2年ほど前に団体研修バス旅行が実施されたが以降は活動していない。

世話役が亡くなったり病気になったりして旗振り役がいない状態で存続が危ぶまれる。

高齢者同士が顔を会わず機会が減って淋しい。

ゲートボール教室は毎週月曜日に行っているが、無断欠席者の見守りも兼ねて連絡を取り合っている。

各地域の老人会も殆ど解散し、神崎と大川ぐらいしか残って

いない。

- (事務局) 元気サロンについては、事務局が加佐分室なので一度連絡をとって今後の進め方を調整させていただく。  
由良川学園としても運営委員委嘱のこともあるので。
- (委員長) 何か楽しい集まりがあれば、年寄り集まる。ただ足の問題はあがる。加佐診療所のバスなどを利用して。  
福祉センター条例のこともあるかもしれないが、「楽しみ系の事業」を考えて欲しい。
- (委員長) ゲートボール教室の委員長として悩んでいるのが、寒い時期での薪ストーブのこと、暖房がなくなると会員がまた来なくなる懸念がある。何か良い案はないか。
- (事務局) 代替のものを現在考えているところ、地域住民から薪ストーブの苦情が出た以上、行政として燃やす訳にはいかない。  
寒くなるまでに対応したい。

※ 議事終了により今西委員長降壇

(8) 閉 会 (所長)

貴重なご意見をいただいた。  
由良川学園の今後の運営の参考にさせていただく。  
本日はありがとうございました。

15時10分 終了